



暖房器具の取り扱いにご注意を！ - 火災を未然に防ぎましょう -

毎年、暖房器具による火災が発生しており、中でも、ストーブが原因となる火災が多くなっています。これから暖房器具を使用する機会が増えます。火災を防ぐために、次の点に注意しましょう。

- <ストーブを使用する時の注意点>
▶石油ストーブの燃料は灯油です。ガソリンは使用しないでください。
▶ストーブの近くに紙・衣類など燃えやすい物を置かないでください。また、ストーブの上で洗濯物を干さないでください。火災が発生するおそれがあります。
▶ストーブを使用するときは、こまめに換気を行ってください。換気が不足すると、灯油やガスが不完全燃焼して、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
▶地震などの揺れで転倒しないよ

- うに、固定する必要のあるストーブはしっかり固定してください。
▶煙突がついているものは、指定の金具や支線などを使用して固定してください。
<給油時の注意点>
▶石油ストーブに給油する場合は、ストーブの火を消し、火が消えたことを確かめてから給油してください。
▶カートリッジタンク式の場合は、給油後、タンクのふたを確実に閉めてください。
<点火や消火の確認>
▶点火後は、炎の調節を行い、正常に燃焼していることを確認してください。
▶外出時や就寝時には、消火していることを確認してください。

応急手当普及員養成講習会

令和4年2月14日(月)~同16日(水) 各日8:30~17:10 (1日目はeラーニングまたはオンライン講習)
対 彦根市・犬上郡に所在する事業所、防災組織などに属し応急手当の指導に従事することができる人 定 10人 (先着順)
料 無料 (別途テキスト代約4000円およびeラーニングに関わる通信費が必要)
申 令和4年1月5日(水)~同26日(水)
問 消防署本署救急係 ☎22-6119

除雪のお願い

消火栓や防火水槽が雪に埋もれた状態では、消火用水の確保に時間がかかり、火災による被害を最小限に食い止めることが難しくなります。
お住まいの地域で雪に埋もれた消火栓などがあれば、除雪のご協力をよろしく申し上げます。また、除雪を行うときは、消火栓などを埋めてしまわないようご注意ください。
問 消防本部警防課 ☎22-0337 FAX22-9427

チケット情報

ひこね市文化プラザ
令和4年3月19日(土)14:00 エコーホール
中嶋俊晴 カウンターテナーリサイタル
~Meine Lieder 私の歌~
小学生以上 託児あり(有料・要予約)
自由 【12月11日(土)9:00~予約開始】
一般2,500円 友の会2,200円
シニア(65歳以上) 2,300円
※シニアチケットをご購入の方は、公演当日に身分証明書などの提示をお願いする場合があります。
彦根出身、ソリストとして世界的に活躍中のカウンターテナー・中嶋俊晴の凱旋公演が決定。約10年ぶりとなるひこね市文化プラザのステージで皆様を魅了します。
申込・お問い合わせ先 チケットセンター ☎27-5200 (9:00~19:00)
チケットはインターネットでもご購入いただけます。 https://bunpla.jp/
12月の休館日：6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)、29日(水)~31日(金)

みずほ文化センター
12月11日(土)14:30 多目的ホール
輝&輝 津軽三味線コンサート
指定 【好評発売中】 小学生以上 託児あり(有料・要予約)
一般2,000円、青少年(25歳未満) 1,500円
12月18日(土)14:00 多目的ホール
人形劇&影絵公演
出演:パペットシアター・らせんくらぶ、影絵人形劇団むむのこ
自由 【好評発売中】 前売500円、当日600円(2歳以上有料)
令和4年1月15日(土)14:00 多目的ホール
彦根亭 みずほ寄席 新春落語まつり
指定 【好評発売中】 小学生以上 託児あり(有料・要予約)
一般(前売) 1,500円、(当日) 1,800円
高校生以下(前売) 1,000円、(当日) 1,200円
出演:笑福亭昇瓶、笑福亭由瓶、笑福亭松五、笑福亭呂翔
申込・お問い合わせ先 みずほ文化センター ☎43-8111 (9:00~17:00)
12月の休館日：7日(火)、14日(火)、21日(火)、28日(火)~31日(金)

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取扱い】
※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
※窓口でのチケット引き取り・販売は 翌開館日 から承ります。
◎表記の価格は全て税込価格です。
◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。
【ひこね市文化プラザ・みずほ文化センターでは、次の感染症対策を実施しています】▶館内設備の定期消毒 ▶手指消毒液の設置 ▶飛沫飛散防止カーテンの設置 ▶非接触型体温計の常備 ▶新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサボ滋賀」の表示の設置



11月27日(土)~12月24日(金)
「井伊家近代文書からみる彦根城」
江戸時代に権力や軍事の拠点であった城は、近代になると地域住民に開かれた公共の場になっていきました。本展では、彦根城の天守が一般に公開されるなど、城が人びとの親しむ場へと転換していく姿を紹介します。
スライドトーク
【日時】11月27日(土) 14:00~(30分程度)
【解説】当館学芸員 【場所】講堂
※当日受付(先着35人、受付は13:30~) ※無料(観覧料は別途必要)
【休館日のお知らせ】12月8日(水)、同25日(土)~31日(金)、令和4年1月5日(水)

関連講座「彦根城と近代」
井伊家近代文書を中心に、古文書に記録された明治時代以降の彦根城のさまざまな利用例を紹介し、近代社会において城が果たした役割を考えます。
【日時】12月11日(土)14:00~15:30 【場所】講堂
※資料代100円(観覧料は別途必要) ※当日受付(先着35人、受付は13:30~)
令和4年1月1日(土・祝)~2月2日(水)
「老いを言祝ぐ-能の世界から-」
古来、日本では、多くの年を重ねた尉や姥は、神に近い存在とされてきました。年老いた神が世を言祝ぐ「翁」、相生の松の精の老夫婦が登場する「高砂」など、めでたい能の演目を通して、祝うべき老いの世界を紹介します。
スライドトーク
【日時】令和4年1月8日(土)14:00~(30分程度)
【解説】当館学芸員 【場所】講堂
※無料(観覧料は別途必要) ※当日受付(先着35人、受付は13:30~)



彦根城下賜に付滋賀県知事通知書



能面 白色尉

彦根城 ― 戦前における国宝指定申請の動き ―
昭和25年(1950)制定の文化財保護法では、「有形文化財のうち重要なものを重要文化財に、そのうち世界文化の見地から価値が高く、たぐいしない国民の宝たるものを国宝に指定できる」としています。彦根城天守の国宝指定は、同27年のことでした。戦前の昭和4年(1929)に制定された国宝保存法にも「国宝(戦後の重要文化財に相当)指定の制度があり、全国の城郭24城が指定されています(この内、8城が後に戦災で焼失)。ただ、この中に彦根城は含まれていませんでした。この状況に対し、彦根では、彦根城を国宝にしようという動きが見られました。
彦根城国宝指定申請書(写真)は、昭和11年、旧藩主井伊家が所有する彦根城を借用していた彦根町が、国宝指定に関する意見を聴くために、同家に提示した文案です。申請書は、井伊家と彦根町長の連名で、文部大臣に宛てられています。指定の範囲は、中堀より内側の区域で、現在の特別史跡とほぼ同じです。また、城郭の規模・天守などの様式、城山の景観が「全国類例無き古城」との文部省の専門家の評価に依拠し、他の国宝の城郭と比べても彦根城は遜色がないとし、小手先だけの修理や保存ではなく、国宝として合法的に維持保存する必要がある、と主張しています。申請書は同12年に文部省へ提出され、同省からも現地視察が実施されましたが、
指定には至りませんでした。同19年には、井伊家から彦根市に城が寄贈され、次に指定に向けた動きが見えるのは、同21年になってからのことです。
彦根城が、戦前に国宝に指定されなかった理由は今後検討すべきですが、指定までの道程が決して平坦なものではなかったことは、彦根城の歴史として記憶しておくべき事柄だと思えます。
【彦根城博物館学芸員 蔭山兼治】
写真の古文書は、テーマ展「井伊家近代文書からみる彦根城」で、11月27日(土)~12月24日(金)の期間、展示します(12月8日(水)は休館日)。

